

# 2017年度(平成29年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(25)番 福山市立大津野小学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感性
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。

## 2 授業の現状

- 国語科において単元のゴールや評価基準を児童と共有することで、児童の学ぶ意欲や教師の評価意識が高まっている。
- △評価基準の質が課題である。
- △教師主導で、児童が主体的に課題を発見したり、追求したりする授業が少ない。

転換

## 3 めざす授業の姿

- 自ら考え、学び、友達と協働しながらともに高まり合う授業
- ・自分の考えを根拠のもとに書くことができる授業
- ・児童が互いに学び合い、「わかった」「できた」「学びが深まった」と実感できる授業

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科・算数科を中心に課題追求型の「めあて」にする。</li> <li>・国語科・算数科で教科用語を提示して自力でまとめを書けるようにする。</li> <li>・算数科の重点単元において課題が大きい児童の個別の指導計画を立て、児童の変容を見取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・66.6%の学級が7割以上課題追求型の「めあて」を提示した。これにより「なぜ」と課題意識をもって意欲的に取り組む児童が増えた。</li> <li>・70%の学級(1年生は除く)が7割以上児童が自力でまとめを書くことができた。追求型のめあてにしたことで、まとめに何を書けばよいのが明確になった。</li> <li>・全学級が個別の指導計画を立て、児童の変容を見取ったが、有効な手立てが十分できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜだろう。問題を解決したい。」と主体的に学習に取り組む児童を増やすために学年間での教材研究やノート交流を月2回行う。</li> <li>・授業のキーワードとなる言葉や教科用語のカードを提示し、めあてに対してまとめがぶれないようにする。</li> <li>・学年主任会で児童のノートから変容を見取るとともに、効果的な手立てを交流し実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年間での教材研究などが、児童の発言を引き出す発問や授業展開へとつながった。</li> <li>・75%の学級がキーワードとなる言葉を提示したことで7割以上の児童が自分でまとめを書くことができた。キーワードを使うことでぶれが少なくなった。</li> <li>・毎月学年主任会で児童のノートや手立てを交流した。具体的なワークシートを見せ合うことで、手立ての質が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの質を高め、充実させるために振り返りの視点を提示し、それに沿って書かせる。</li> <li>・国語科・算数科において、キーワードを使って自分でぶれないまとめを書けるようにする。</li> <li>・C児童への取組を作成し、手立てとして有効だった実践を学年主任会で交流し、授業に取り入れる。また算数科で1単元分、指導と評価の計画を立て、手立てを準備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点を提示することで、様々な視点から学習を振り返ることができ、質の向上につながった。</li> <li>・7割以上の児童がぶれないまとめを書けている学級は75%であった。書けない児童が固定化しそれに対する手立てが不十分だった。</li> <li>・毎月学年主任会でつまづきを予想した手立ての取組を交流した。他学年の取組を参考にして取り入れたり、全体への手立て、個への手立てをそれぞれ講じたりすることで自分の考えを書くことができる児童が増えた。</li> </ul>

## 5 取組の結果

数値は2017年(H29年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	84(+7)	69(+8)
算数	85(+4)	51(+4)

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	72.9(+1.4)	51.5(-0.9)
算数	81.4(+4.3)	72.2(+6.8)
理科	68.3(-2.1)	46.9(-4.1)

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	45.3	38.5	55.1	28.6	58.0	29.9
学校が楽しい	87.2					

暴力行為発生率・不登校児童出現率(%)

(2)月末現在

暴力行為	0	不登校	0.9
------	---	-----	-----

体力・運動能力調査 (網掛:県平均値未満)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトル	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトル	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
1年	8.09	10.36	27.21	27.36	19.09	11.31	119.30	9.03	1年	8.39	9.67	29.00	29.33	20.11	11.30	114.61	7.28
2年	11.42	16.04	27.00	33.65	32.58	10.46	133.54	14.15	2年	11.13	15.76	31.69	33.62	24.13	10.96	119.07	9.24
3年	12.82	17.22	29.39	38.78	48.65	10.26	138.91	18.67	3年	12.32	17.82	33.55	40.21	35.39	10.02	131.06	10.88
4年	14.96	17.30	33.79	38.38	40.63	9.65	155.41	20.61	4年	14.64	17.00	34.09	38.27	40.23	9.57	138.05	16.68
5年	17.19	21.57	33.84	42.08	52.41	9.21	150.00	23.81	5年	16.47	20.47	33.88	42.00	48.12	9.34	146.41	16.35
6年	20.86	23.44	30.67	42.38	58.46	9.27	157.41	27.34	6年	18.62	23.52	40.71	47.50	52.00	9.02	171.05	18.52

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

(3)月実施

内容	よく当てはまる	当てはまる	どちらかといえば当てはまる
仕事に意義とやりがいを感じている	18.8	68.8	12.5
日々の仕事に充実感がある	18.8	43.8	31.3